

第1回「医工連携推進研究会」開催のご案内

～医療現場のニーズにどう対応するか～

九州地域における医療関連産業の振興等を図るため、本年9月に「九州医療関連産業推進フォーラム」を立ち上げたところですが、当フォーラムの活動の一つとして標記研究会を開催することと致しました。

医療機器等の開発等においては、医療現場のニーズを十分に把握することが求められていますが、企業としては、どのように現場ニーズを探っていけばよいか、またその課題に対してどのように技術的にアプローチしていくか見いだせないのが現状です。

それで、今回、これまで医療現場での課題やニーズ等を技術的に解決した事例を研究者から報告いただき、医師からは医療現場の課題やニーズをご紹介いただくこととしました。参加された企業には、提示された医療現場のニーズ等に対する課題解決について、企業ご自身がお持ちの技術等がどのように活用できるか、検討できる機会としていただきたいと思いますと考えております。

医療機器等への開発に取り組んでおられる企業のみならず、今後、医療関連産業への参入を積極的に考えておられるものづくり中小企業や研究者の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

なお、今後、同様の研究会の開催を予定しております。

開催概要

■日時 平成23年12月15日(木) 17:00～19:00(予定)

■場所 福岡大学文系センター棟4階第4会議室 (福岡市城南区七隈8丁目19番1号)

■定員 50名 参加無料 ※1 申込締切日:12月13日(火)

※2 参加対象者は、企業、大学等研究者など課題解決提案ができる方

[主催] (財)九州産業技術センター、九州経済産業局

プログラム

17:00 開会／説明

17:10 取組報告

～17:55 「医工連携・上市過程をシステムとしてとらえる重要性:短期間に成果を出す方法」
九州大学先端医療イノベーションセンター教授 大平猛

「外科手術における術前シミュレーションと術後評価、長寿命人工関節の開発」

福岡大学工学部准教授 森山茂章

「消化管内走行カプセル」

九州工業大学大学院情報工学研究院 教授 伊藤高廣

17:55 医療現場のニーズ発表

～18:55 ※1テーマにつき、ニーズの内容等について10分間の説明を実施。参加企業等には、ニーズに対し保有する技術等がどのように活用できるか、ご提出いただきます。

【テーマ】「喉頭摘出後の代用音声:電気喉頭の機能・音声の改善」

「医療用回路のワンタッチジョイント化」

「診断／治療両用低出力超音波振動・探触子の開発」

「難治性歩行障害の治療を目的とした脊髄電気刺激装置の開発」

「タンデムエアバッグの開発」

「消化器内視鏡治療をより迅速にするためのクリップの開発」

19:00 閉会

※プログラムの順番が一部変更になることがあります

申込先：(財)九州産業技術センター
 FAX:092-432-5825
 締切日：12月13日(火)

参加申込書	
企業・機関名	
住所	
TEL・FAX	TEL - - FAX - -
職業(業種)	<input type="checkbox"/> 製造業(医療機器) <input type="checkbox"/> 卸売業・小売業(医療機器) <input type="checkbox"/> 大学等研究機関 <input type="checkbox"/> 製造業(その他) <input type="checkbox"/> 卸売業・小売業(その他) <input type="checkbox"/> その他 ()
参加者	役職 氏名 E-mail
	役職 氏名 E-mail
	役職 氏名 E-mail
	役職 氏名 E-mail



問い合わせ先

(財)九州産業技術センター
 TEL092-432-5807
 FAX092-432-5825
 担当:二階堂、野上